

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第一小学校

1 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

●正答率…前年度と比較し上昇↑・下降↓・同じ＝

他の項目…目標値と比較して±5ポイントを基準として≒で表す。

基準を上回るものを△、下回るものを▽で表す。

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	≒地域や市の様子 ≒生産や販売 ≒安全を守る働き ▽市の様子の移り変わり		
第5学年	↓正答率 △都道府県の様子 △生活環境を支える活動 ≒自然災害からくらしを守る活動 △伝統や文化、先人の働き ≒特色ある地域の様子	△地域や市の様子 △生産や販売 △安全を守る働き △市の様子の移り変わり (第4学年時)	
第6学年	↑正答率 ≒国土の自然などの様子 △農業や水産業 △工業生産 ≒産業と情報の関わり ≒国土の自然環境と国民生活	↓正答率 △都道府県の様子 ≒生活環境を支える活動 △自然災害からくらしを守る活動 △伝統や文化、先人の働き ≒特色ある地域の様子 (第5学年時)	△地域や市の様子 △生産や販売 △安全を守る働き △市の様子の移り変わり (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 定着が図られた領域

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・資料から具体的な数値等を読み取る力が向上した ・学習用語の意味理解が向上した。	・複数の資料を比べたり、読み取って表現したりする力が向上した。	・どの学年も区の平均値を上回っている。

② 課題のある領域

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・「安全なくらし」の領域における理解や資料の読み取りに課題がある。 ・「くらしの移り変わり」の領域理解が弱い。	・「日本の水産業」の領域では、資料をもとに自分の考えをまとめる問題に課題があった。	・個人差があり、まったく主体的に取り組めていない児童も見られた。

2 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 昨年度の課題について

- ・昨年度に引き続き、資料を読み取って表現する力が向上している。日々の学習の積み重ねが成果となって表れている。

(2) 今年度の課題について

- ・領域によって、学習内容の理解に差がある現状が浮き彫りとなった。どの領域においても学習内容の定着を図っていきけるよう、繰り返し知識を問うことや、余裕を持った学習時数の確保が必要である。
- ・資料を読み取る力は向上しているものの、そこから考えられることを想像したり、自分の考えを分かりやすくまとめたりする点に課題がある。日々の学習において、資料の読み取りにとどまらず、さらに一步踏み込んだ発問を取り入れるようにするなどの工夫が考えられる。
- ・総体としてみた時には区の平均を上回っているが、個人差が大きい。どの児童にも社会科学習の楽しさが伝わるよう、画像や映像教材、体験的な学習を積極的に取り入れていく。また、一つでも好きな領域を見つけて学習に取り組めるよう声掛けを続ける。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・方位や区にある主要な鉄道、施設等について小テスト等を活用することにより、繰り返し学習できるようにする。 ・デジタル教材や写真資料などを活用して、理解を深められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を白地図や新聞等にまとめる活動を多く取り入れることで、表現する力を育てられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに自らで考えた学習課題に取り組む時間を設けることで、さらに主体的に取り組めるようにする。 ・児童の生活経験を振り返ったり、身近な生活につなげたりすることで、主体的に学習に取り組めるようにする。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の展開に合わせ、これまでに学習してきた内容の確認を繰り返し行うことで、知識の定着を図る。 ・写真資料・映像資料を効果的に用いることで、理解を深めやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から考えられることについてその都度問いかけることで、考えながら学習する習慣をつけさせる。 ・単元の終わりには確実に振り返りを行う。それにより、自分の考えを分かりやすくまとめる力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料や映像資料を効果的に用いることで、学習内容に興味をもたせる。 ・時事問題や児童の経験と学習をつなげられるよう発問等を工夫する。 ・自分が興味をもった事項について追究する時間を設け、学習にのめりこめる環境づくりを行う。